

2016年7月5日

スズキ、Google Lunar XPRIZE に挑戦する民間月面探査チーム「HAKUTO」と コーポレートパートナー契約を締結

スズキ株式会社（以下、スズキ）は、世界初のロボット月面探査レース「Google Lunar XPRIZE（グーグル・ルナ・エクスプライズ）」に挑戦する株式会社 ispace（東京オフィス：東京都港区麻布台）が運営する日本初の民間月面探査チーム「HAKUTO」と、コーポレートパートナー契約を締結しました。月面に民間開発のロボット探査機（ローバー）を着陸させ、500m以上移動し、高解像度の動画や静止画データを地球に送信する Google Lunar XPRIZE のミッション達成に向け、スズキは HAKUTO が開発するローバーへの技術支援を検討してまいります。



- HAKUTO のローバー（プリフライトモデル 3） -

ミッションの達成には、打ち上げ費用に直結するローバーの軽量化と、レゴリスというパウダー状の砂で覆われた月の表面をスリップすることなく確実に走行できる走破性が、大きな課題となります。スズキは、軽量化技術やトラクション制御技術など、小さなクルマづくりや四輪駆動車の開発で培ってきた技術の活用を検討し、HAKUTO のミッションを支援する予定です。

■ 鈴木俊宏（スズキ株式会社 代表取締役社長）

「今回、HAKUTO の月面探査の夢を支援出来る事を大変喜ばしく思います。小さなクルマづくりを通じて、豊かな社会に貢献してきたスズキは、小さなローバーで夢にチャレンジする HAKUTO に共感し、このプロジェクトを支援することを決めました。スズキの技術を活用したローバーによる月面探査の成功を楽しみにしております。」

■ 袴田武史（HAKUTO 代表）

「ローバーの軽量化と4輪駆動の技術は非常に重要であるため、スズキにパートナーに加わっていただき大変心強く思います。スズキが小さなクルマ作りで培ってきた技術とノウハウを、HAKUTO のローバーに活かせるように検討を進めていきます。」

【スズキについて】 <http://www.suzuki.co.jp/>

スズキ株式会社は、「消費者の立場になって価値ある製品を作ろう」を社是の第一に掲げ、二輪車、四輪車、船外機を中心に世界各国で愛用される製品を提供する輸送機器メーカーです。1909年に鈴木式織機製作所として創業し、1952年に二輪車パワーフリー号で自動車産業進出を果たしました。四輪車では、1955年のスズライト発売以来、アルトやワゴンR、スイフトなど、小型軽量で燃費が良く、環境への負担の少ないクルマづくりを追求しています。

【HAKUTO について】 <http://team-hakuto.jp/>

HAKUTO は、株式会社 ispace が運営する、日本で唯一 Google Lunar XPRIZE に参加するチームです。ベンチャー、大学、そしてプロボノと、様々なバックグラウンドをもった人材が集まり、それぞれの特技を生かし合って月面探査ロボット（ローバー）を開発し、Google Lunar XPRIZE に挑戦するプロジェクト「au×HAKUTO MOON CHALLENGE」で世界初の民間月面探査を目指しています。2015年1月には、月面ミッションを達成できる能力のローバーを開発したその技術力が評価され、Google Lunar XPRIZE 中間賞のモビリティ部門を受賞しています。

【Google Lunar XPRIZE について】 <http://lunar.xprize.org/>

Google がスポンサーとなり、XPRIZE 財団によって運営される、民間組織による月面無人探査を競う総額3,000万ドルの国際賞金レースです。ミッションは、月面に純民間開発の無人探査機を着陸させ、着陸地点から500m以上走行し、指定された高解像度の動画や静止画データを地球に送信すること。1位のチームには賞金2,000万ドル、2位のチームには賞金500万ドルが与えられます。現在、世界各国から16チームが参加しています。